世間解　第四六五号

令和八（二〇二六）年 十一 月

発行　西法寺

念仏もうさるべし

ーゆっくり ゆっくりー

聴く！せけんげ

スマホで読みやすい横書き版

YouTube　note

十一月であります。毎年のことですが、今年も同じように「しかし時のたつのは早いですねぇ」といってしまう季節になりました。

皆さまにはご本願のおはたらきと、それぞれの日暮らしの中で「なんまんだぶ、なんまんだぶ…」とお念仏ご相続のことと存じます。

毎年「時のたつのは早いですねぇ」と申しあげ、それと共に「しかし、今日もアッという間やったなぁ」といえるのはよほど恵まれてることやろなぁと思いますが、私自身、年々その思いは強くなっているように感じます。

大きな災害や事故、大雨、台風や雪の被害、続く日照りによる旱魃…。

われわれが遭っていかねばならない好ましくない出来事は数えきれません。

浅井成海という先生がおられました。龍谷大学の名誉教授で、平成二十二（二〇一〇）年六月二十日に七十五才でご往生になられました。

西法寺にも何度かご出講をくださり、お育てをたまわりました。

どんな質問にも「う〜ん、そうですねぇ…。」とじっくり考えてからお答えくださるとてもやさしい、穏やかな先生でいらっしゃいました。

浅井先生がある時「自然はわれわれに大きな恵みを与えてくれますが、ひとだび荒れると人間は全く立ち向かう力もすべも持たないのですねぇ」とおっしゃっていたことがありました。

そんな中で、阿弥陀さまのご本願は「あのな、色んな事やってきて、いろんな目にあわんならんけどな、必ず支えてるから、恵まれた“いのち”を大切に、大切に生ききって、望むことではないかも知らんけどその“いのち”を結んでゆかねばならない時がきたら私の浄土に生まれて帰ってくるんだと思ってくれよ。それまでの日暮らしは“なんまんだぶ”というお念仏と共に越してくれよ。」と願いはたらき続けてくださっておるのであります。

「どれだけ聞いても分かりません。」

「何かハッキリいたしません。」

「聞いたことはすぐに忘れてしまします。」

「こんなことで大丈夫でしょうか。」

桐溪順忍という和上さまは「このような思いをもたれるのは一面からいえば阿弥陀さまのご法義に遇うておられる証拠であるというてもええんでないんかいのお」とおっしゃっていました。

全く和上のおっしゃるとおりで、「お前さん必ず支えてるよ」という阿弥陀さまのお救いの言葉に遇わなければ（聞くことがなければ）「こんなことでは…」という心配が出てくることはないのであります。

「どれだけ聞いても分かりません。聞いたことはすぐに忘れてしまいます。とご心配になる方がおられますけどね、分からんとあかんと考えるから分からんことが心配になるんでね。私が分からんでも私のことをちゃんと分かってくださっている阿弥陀さまがいらっしゃると安心させていただいたらエエンでないの。覚えとかんならんと考えるから忘れることが苦になるんでね、私が忘れても私のことを決してお忘れになることのない阿弥陀さまがおってくださると安心したらええんですわ。そうやねぇ、忘れることを苦にせんとまた聞かせていただくことを楽しみにさせていただいたらええんじゃないかな。」

梯實圓和上のお言葉であります。

日暮らしの中では何がやってきてどのような目にあい、どのような思いを持ってゆかねばならいか全く分かりません。しかし、私がどのような状況にあろうとも阿弥陀さまやご往生くださった方々の「へあなた（ここはご自分のお名前をお入れください）〉、必ず支えてるよ」という願いのおはたらきは決して変わることなく私を支え続けてくださっておるのであります。

私たちは、このような先哲方のお言葉を通して、お念仏を依り所に、お念仏に聞きながら、生きてゆく（生かされている）中に、「心配することなかったんやなぁ」とゆっくりゆっくりお育てをいただくのでありましょう。

合　掌